

話題がいっぱい /
なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、
まちの話題をお届けします。
ここで“なかゆくい”しませんか。
(なかゆくい=ひと休み)



市ホームページ「うらそえトピックス」
にも市内のできごとを紹介しています。



11/12・13 スワローズゆかりの4市が交流

キャンプ地や「つばめ」の縁でヤクルト球団に関わりのある新潟県燕市と愛媛県松山市、宮崎県西都市、浦添市の幅広い交流を目的として、第10回東京ヤクルトスワローズ少年野球交流大会が燕市で開催されました。本市からは浦添代表として内間ペアーズが参加し、選手たちは、日頃の練習の成果を十分に発揮して全カプレーで試合に臨みました。

試合後は、金属加工で有名な燕市でダンブラーの槌目入れ体験をするなど、他市の子どもたちとの交流を楽しみました。



11/5 生き物散策で環境理解

市内の環境について、市民が主体となって調査を行い、地域の環境情報を充実させる目的で結成された「てだこ環境調査団」。今回の第9期調査団は、浦添大公園内ようどれ周辺の自然観察をテーマに開催され、13組28人の親子が参加しました。

専門スタッフから説明を受けながら公園内の植物や生物を確認した参加者からは、「日頃何気なく見ている植物や生物が実は外来種で、多数生息していることに驚いた」「バッタだけでも公園内にいろいろな種類がいることを知りました。友達にも教えたい」とそれぞれの視点で“環境を見る目”を養う機会になりました。



10/23 囲碁の戦いに全国から挑戦

美ら島おきなわ文化祭2022でだこIGOフェスティバルと全日本視覚障害者囲碁大会がアイム・ユニバースでだこホールで開催され、全国から老若男女総勢160人が参加し、熱戦が繰り広げられました。

自身の実力を試す場として、プロ棋士の知念かおりさんや、芝野龍之介さんと指導対局を行うなど、普段は体験できないプロとの対局もありました。

また全日本視覚障害者囲碁大会では全国から7人が参加しました。沖縄県代表として参加した大浜さんは、「目が見えなくても、健常者と同じ土俵で戦えることがアイゴ（視覚障がい者専用囲碁盤）の魅力です」とアイゴの醍醐味を語りました。



11/16 地域で見守る安心のまちづくり

沖縄電力株式会社との地域見守りネットワーク事業協定締結式が市役所で行われました。この事業は、市内の各団体や企業などの見守り協力団体と、市および浦添市社会福祉協議会が連携し、地域住民の見守りや安否確認、声掛けなどを行う事業です。

沖縄電力株式会社の横田哲常務は「弊社は、『地域とともに地域のために』という企業スローガンのもと、日々の検針業務の中で少しの異変にも気付くよう普段から気配りすることを心がけています。さらに今回の締結で連絡体制ができたので、引き続きさまざまなつながりをもって貢献していきたい」と地域との連携への意気込みを語りました。



11/6 まなびの成果を発揮

「人と地域と、ゆるやかにつながる」をテーマに、市民協働の取り組みに必要な知識や方法、その実践などについて学習を進めてきた浦添市まちづくりアカデミーの受講生たちは、まちを盛り上げたいと受講生自らが企画し、ワークショップを実施しました。

サンエー浦添西海岸パルクシティ1階Lounge-Tの会場には、塗り絵や吹きこまなど、7つのブースに約190人が参加しました。参加者からは「ペーパークラフトや木のおもちゃ、昔の遊びなどの良さを改めて感じました」との声があり、また受講生からは「多くの課題はあったが、チームを超えて他の受講生に助けられ、また子どもたちも喜んでくれて嬉しかった」との感想がありました。



11/5 浦添で飼育された蚕の糸で機織り体験

蚕の飼育や桑の栽培・食品加工、絹織物に関する取り組みを行っている養蚕絹織物施設サン・シルクで見学会が開催されました。見学会では糸ひきの体験や、昔ながらの機織り機を使った体験教室も行われ、参加者からは「浦添で育った蚕の繭からひいた糸は、光沢があり綺麗でした」「学校で、蚕が繭になるまでの飼育を経験したことで興味を持ち参加しました。実際に繭から糸をひいたり、機織りを体験できて嬉しかったです。作ったしおりは大事にします」と楽しそうに話していました。

サン・シルクには1階に展示ショップがあり、うらそえ織のかりゆしウェアや、ネクタイ、帽子や小物、てだ桑茶や桑の実ジャムなどの桑関連の商品も販売されています。



11/1 全国の大舞台で堂々の第2位受賞

9月8～11日に東京都・武蔵野の森総合スポーツプラザで開催された2022ジャパンカップのジュニアバトントワリング部門で見事第2位を受賞した、Tida Batonteam Okinawaが市役所を訪れました。

代表の宮里さんは「今回はメンバーが替わり、リハーサルがなく1回きりの本番だったが、持てる力を最大限出し切ることができた。普段の演技よりも何倍も輝いていた」とチームの活躍を喜びました。

松本市長は、「全国の大舞台で緊張する中、練習の成果を発揮できて、精神的に強く素晴らしい。良い成績を残すことも大事ですが、チームで友情を深め仲良くバトンをやっているってほしい」と激励しました。